

# 第1・2学年 国語（書写）科

## 1 学年の目標

(1) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書く。 (2) 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書く。
--

確実な文字の活用の力を獲得させるために、姿勢、筆記具の持ち方、正しく丁寧に書く態度、筆順等の指導を綿密に行い、習慣化することが大切である。

## 2 指導の要点

姿勢・執筆	姿勢や筆記具の持ち方を正しくすることで、読みやすく整った文字を効率よく書く。
用筆・運筆	始筆から送筆、さらに終筆（とめ・はね・はらい）までを、筆順に従って字形を整えて書く。
筆順	筆順の原則を身に付け、点画の筆使いと文字の概形に注意して、書く。

## 3 内容の取り扱い

- (1) 確実な文字活用の力を獲得させるために、姿勢指導と用具の持ち方指導を関連して行うようにするとともに、年間を通して繰り返し指導する。
- (2) 持ち方を正しくするためには、人差し指と親指と中指の位置、手首の状態や鉛筆の軸の角度などを適切にするよう繰り返し指導する。
- (3) 筆記具は、低学年では、鉛筆やフェルトペンを使用する。
- (4) 筆順の指導に関しては、繰り返し行い、筆順の原則が自然に身に付くように指導する。

## 4 評価の観点の趣旨

観 点	観 点 の 趣 旨
書写に対する 関心・意欲・態度	硬筆書写に対する関心を持ち、文字を正しく楽しく書こうとする。
書写についての 知識・理解・技能	正しい文字の書き方と整え方を理解し、平仮名・片仮名・漢字や文字を正しく書く。